

第26回尾道市長旗争奪中学硬式野球大会要綱

主 催	尾道リトルシニア野球協会
後 援	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟中国支部 尾道市・尾道市教育委員会・尾道市体育協会・株ちゅピCOMおのみち
会 場	しまなみ球場・三原市民球場・ツネイシスタジアム・尾道商業高校 尾道高校・福山商業高校・盈進高校・笠岡どんぐり球場
大会運営	[参加チーム] 24チーム リトルシニアリーグ 東海連盟(3) 関西連盟(16) ボーイズリーグ 中四国ブロック(5) [試合形式等] (1) 期 日 令和元年8月3日(土)～4日(日) 第1日目 8会場、各3チームに分かれて予選リーグ戦(決勝トーナメント戦進出は、勝点の多い上位4チームとする。なお、勝点が同じときの順位は、「①総失点 ②得失点 ③総得点」の順によって決定する。) ※勝点は、コールド勝利=4・勝利=3・引分=1・敗戦=0とする。 第2日目 準決勝・決勝戦(3位決定戦は行わない) 予選敗退チームによる交流戦 (2) この大会は、日程の都合上つぎの特別規定を定め実施します。 ① 試合は7回戦とする。ただし、決勝戦を除き5回以降7点差をもってコールドゲームを採用する。 ② 予選リーグ戦については、時間制を採用し試合開始後2時間を経過して新しいイニングに入らないこととする。7回終了、又は時間切れ同点のときは引き分けとする。 ③ 準決勝・決勝戦において7回終了時、同点のときはタイブレーク(1死満塁、最長2回)を行い、さらに同点のときは最終出場メンバー18名による抽選で勝敗を決定する。(延長戦は行わない) ④ 投手の投球制限を採用し、日本中学硬式野球協議会で制定されたものを適用する。(投球確認シートは本部で準備する) ⑤ 規定の広さ、囲いのない球場での試合は、特別グラウンドルールを定める。 ※このルールは、試合開始前に各会場の審判員より説明する。 ⑥ 試合前のシートノックは7分間とする。 (3) 大会第1日目の各試合の墨審・SBOは、各チーム2名協力願います。 (4) 1試合につき各チーム試合球(メーカー指定なし)3個を提出願います。 (5) 各試合の進行は、各チームのアナウンス担当者に協力願います。 (6) 試合前のグラウンド整備は、両チームの選手に協力願います。 表 彰
表 彰	団体：優勝・準優勝・第3位／個人賞：最優秀選手賞・優秀選手賞・敢闘賞



第26回 尾道市長旗争奪中学硬式野球大会 組合せ表

■第1日目／予選リーグ戦 ①9:00～ ②11:00～ ③13:00～ 左;1塁側 右;3塁側

しまなみ球場

1 試合 尾道 vs 枚方 —

2 試合 尾道 vs 津 —

3 試合 枚方 vs 津 —

三原市民球場

1 試合 広島中央ボーイズ vs 徳島東 —

2 試合 大和高田 vs 徳島東 —

3 試合 大和高田 vs 広島中央ボーイズ —

ツネイシスタジアム

1 試合 東広島ボーイズ vs 岡山西 —

2 試合 生駒 vs 岡山西 —

3 試合 生駒 vs 東広島ボーイズ —

尾道商業高校

1 試合 福山東 vs 広島廿日市ボーイズ —

2 試合 奈良中央 vs 広島廿日市ボーイズ —

3 試合 奈良中央 vs 福山東 —

尾道高校

1 試合 三原中央 vs 愛媛松山ボーイズ —

2 試合 金沢 vs 愛媛松山ボーイズ —

3 試合 金沢 vs 三原中央 —

盈進高校

1 試合 広島瀬戸内 vs 綾部 —

2 試合 知多 vs 綾部 —

3 試合 知多 vs 広島瀬戸内 —

福山商業高校

1 試合 福山 vs 徳島中央 —

2 試合 河南 vs 徳島中央 —

3 試合 河南 vs 福山 —

順位	チーム名	勝点	総失点	得失点	総得点
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

■第2日目／決勝トーナメント戦

笠岡どんぐり球場

1 試合 呉昭和 vs 岡山ボーイズ —

2 試合 東大阪 vs 岡山ボーイズ —

3 試合 東大阪 vs 呉昭和 —

準優勝

第3位

第3位

優勝

14:00～

9:00～

11:00～

予選1位	予選3位	予選2位	予選4位
------	------	------	------